

# かけはし

川崎市立向丘小学校  
学校便り7月号  
R 8 . 6 . 30



## こころと未来をつなぐかけはし

校長 秋山 直子

川崎市では、梅雨明けは7月中旬頃と予想されており、夏休み前まで不安定な気候が続くそうです。梅雨の時期が年々後ろに下がっていくようで、日本の「四季」という美しい言葉がいつかなくなってしまうのではないかと少し心配になります。子どもたちが大人になっても、季節ごとに表情を変える美しい自然を感じられるよう、学校としても環境問題に取り組んでいかないといけないなあと改めて思います。空気が湿っていて蒸し暑い日も多いですが、子どもたちが元気に夏休みを迎えられるよう、体調管理等のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校の学校だよりのタイトルになっている「かけはし」という言葉ですが、私が小学生から愛用している国語辞典では、「かけ・川などに板などをわたしてつくった橋」と説明されています。でも、学校では、この言葉を何かと何かを「つなぐ」という意味で、とても大切に捉えています。

### 〈人と人がつながる〉

本校の学校教育目標にも「つながり合う子」という言葉があります。学校は、たくさんの人と出会い、お互いに支え合って学ぶ場所です。気持ちや考えを様々な方法で伝え合い、認め合い、共に過ごすことで、心と心にあたたかい橋がかかっていきます。「おはよう」「ありがとう」といった短いひとことも、積み重ねていけば立派なかけ橋になります。学校では、子どもたちの柔軟な姿勢、素直な言動から、私たち大人がつながり方を教わる場面もよくあります。学校生活を通して、誰かとつながる、あたたかい橋のかけ方を学び、優しい、協働的な社会をつくっていける人に育ててほしいと思います。

### 〈未来につながる〉

日々の学習や生活での経験は、全てが子どもたちの未来へつながるかけ橋となります。時には迷ったり、諦めそうになったりすることもあります。周囲の人々とつながって乗り越えた先には、より太くて頑丈な橋が伸びていくはず。子どもたちの可能性は無限大です。日々、小さな「できた!」を積み重ね、自分の力で、未来でもかがやく自分を創り出す力を備えてほしいと願っています。

18日から始まる夏休みは、学校生活とはまた違った橋をかけるチャンスです。子どもたちは、すでに待ち遠しいようで、今から夏休みの楽しみについて教えてくれています。一つのことじつくりと時間をかけて挑戦したり、新たな経験を積んだり、新しい場所とつながる夏休みにしてほしいと思います。夏休み明けに、嬉しそうに思い出を話してくれる姿が、私も今から楽しみです。

### ～今年度の児童会のめあてが決定しました～

子どもたちが、向丘小をさらにすてきな学校にしようと、今年も児童会のめあてを考えました。

今年「向小だましい」です。

た たすけあい  
ま まいにち元気  
し しあわせいっぱい  
い いつでもチャレンジ

明るく前向きで、仲間とともに生き生きとかがやく、向丘の子どもたち。小さな成長に寄り添い、大きな可能性を信じて、これからも、笑顔で渡れる「かけはし」を一緒に築いていきたいと思っています。

7月に予定している不審者対応訓練に先立って、6月24日(水)に教職員向けの不審者対応研修を行いました。宮前警察署の方を講師にお招きし、実際に不審者が校舎内に入ってきたときの対応を教えてくださいました。でも、対応の仕方に正解はないとのこと。不審者を校舎内に入れないことが最も大切です。保護者の皆様も、来校される際にはIDの持参・提示をよろしくお願いいたします。